

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	24500 円	基本的に昼ご飯はスーパーで安く済ませていた
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4820 円	トリファの eSIM
現地通学費	0 円	(研修先まで 20分)
教養娯楽費	30000 円	テカポのツアー代
被服費	4700 円	
雑費	1470 円	
その他	11500 円	例:遊びに行く際の交通費、お土産代
合計	76990 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港の両替所で手続きを済ませた
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にクレジットカードが一番便利

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
トリファの eSIM(20GB、データ通信のみ)を購入

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
緑茶のティーバッグ、カイロ、風邪薬、ジップロック、水筒、ハンガー、洗濯ネット

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 空港の自販機の現金コーナーにクレジットカードを挟んでしまった。 CCEL の日本人スタッフの方、東京海上国際アシスタンスに相談した)
特記事項: カードの停止および自販機会社への連絡を行った。カードは戻ってこなかったが、不正利用などの問題はなし。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
基本的に、暗くなる前にホストファミリーの家に帰るようにしていた。友達との外出で遅くなる場合は、どこへ行き、何時までに戻るのかをホストマザーに伝えていた。また、渡航前に外務省のたびレジに登録した。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校に Wi-Fi が設置されているが、接続はあまり良くなかった。ホストファミリーの家では家族の Wi-Fi を使わせてもらった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 特に冷蔵庫に自分が購入した食品を入れる際や、食器を使う際はホストファミリーに使ってもいいか・何かルールはないかと聞くようしていた。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 授業は 8:30～13:00 までの三コマで、4 技能の学習に加え、ディスカッションやディベート、ミニゲームをする機会があった。特にディスカッションは英語力を伸ばすのにとても役に立った。私のクラスは他のクラスに比べて比較的日本以外の学生が多く、環境に恵まれていたと思う。夏休み期間なので、日本人学生が多め。
2)課外プログラムについて 放課後にクラブ活動あり。週末にはテカポに行くプログラムがあった。
3)現地での生活に関すること 朝の始まりが早く、夜寝るのも早い。早寝早起きの習慣が身につく。また、ニュージーランドは治安が非常に良いため、海外に行ったことがない人にとって、ハードルが低い国だと思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 CCEL はカンタベリー大学から離れていたため、現地の学生と交流する機会はなし。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 特になし

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 バスを降りるときに、「Thank you」という慣習がある。お店の閉店時間が早く、都市部の観光地では 16:00 に閉店してしまうところもあった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上) 「とりあえず留学をしてみたい」という思いでこのプログラムに申し込みましたが、このプログラムは申込時に期待していた以上に魅力的でした。同じような考えを持っていて、どのプログラムを選ぶか迷っている人にぜひおすすめしたいです。ニュージーランドは治安が非常によく、水道水も飲めるほど水がきれいでした。 学校生活やホストファミリーとの交流を通じて、ニュージーランドでの暮らしや日本人以外の方々の体験について知ることができました。また、旅行と異なり、観光地ではなく現地の人々が暮らす地域に滞在するため、街を歩いているだけでも日本との違いに気づく場面が多かったです。 また、CCEL が開催するテカポのツアーは特に印象深い体験でした。雄大な自然やツアーに参加するメンバーとの交流、日本では見られない満点の星空をぜひ体験してほしいです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	6500 円	
現地通学費	7000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	8000 円	
被服費	4000 円	
雑費	円	
その他	円	例:
合計	31500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 羽田空港にて 5000 円分換金
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 大学のキャンパス内はクレジットカード決済のみでした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 Klook にて滞在日数分の無制限 eSIM を購入

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 日本の食品、防寒具、持ち運びできるカトラリー

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 申し込み後に登録されるたびレジから都度確認しました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 ホームステイ先では問題なく Wi-Fi が使用できましたが、学校の Wi-Fi は弱くほぼ使えませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) お母さん 1 人の家庭でしたが、夕食の時間やその後の時間にたくさん会話ができとても親切な方でした。ニュージーランドの家庭は朝食を自分で用意するのが一般的で、前日の夜に食材をキッチンに置いておいてくれるスタイルでした。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 スピーキングをはじめとして英語の4技能を満遍なく学習できる授業内容でした。想定していたよりも 1 クラスの人数はやや多く、日本人の生徒がかなり多かったです。
2)課外プログラムについて 会話クラブ、絵画クラブ、料理クラブといった課外クラブに参加しました。会話クラブは違うクラスの様々な国籍の人と自由なテーマで話すことができとてもよかったです。絵画クラブ、料理クラブは英語を使う機会がほとんどなかったため一回しか参加しませんでした。
3)現地での生活に関すること 綺麗な空気と自然に囲まれているため、街の雰囲気はゆったりしていて過ごしやすいです。街の中心には大きなショッピングモールやマーケットがあり、栄えている印象でした。週末や放課後にもたくさん時間がありますが、見て回るようなところがそこまで多くないので、少し手持ち無沙汰になりました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 特になし
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 ニュージーランドは英語だけではなくマオリ語を話す人もいるため、街中の至る所にマオリ語が書いてあることが印象的でした。マオリ語の挨拶「Kia Ora」はニュージーランドのニュース番組でも必ず使われていました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

ニュージーランドの生活は、自然に囲まれた落ち着いた雰囲気、とても生活しやすかったことが印象に残りました。日本とは異なる環境で生活することで、普段当たり前だと思っていたことにも改めて気づくことができました。季節が日本とは真反対になるため、日本から移動する際に防寒着を持ち運ぶことや、長袖の洋服を用意することが少し大変でした。しかし、実際に現地で生活してみること、日本との気候や文化の違いを身近に感じることができ、とても貴重な経験になりました。今回の研修を通して、慣れない環境でも自分から行動することの大切さを学んだので、今後の学生生活でもさまざまなことに積極的に挑戦していきたいと思いました。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL クライストチャーチ英語研修
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	6,000 円	外食代
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3,000 円	トリファ 20G
現地通学費	6,000 円	(研修先まで 70分)
教養娯楽費	40,000 円	テカボ湖、動物園、ゴンドラ、イルミネーション
被服費	2,900 円	
雑費	1,000 円	手紙
その他	円	例:
合計	約 6 万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 日本円で二万円持っていき、一万円のみショッピングモールで換金。
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 クレジットカード。全てvisaで支払いました

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 トリファ 20G
 無制限は高かったのですが20Gのものを使用しましたが、3 週間で 10Gちょっとしか使わなかったの 20Gあれば十分だと思います。
 トリファは分かりやすいに安かったのにおすすめです

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 水筒、スリッパ、洗濯ネット、日本のおせんべい(日本の味が恋しくなります)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 ホストファミリーが教えてくれました。夜道は危ないといって毎日バス停まで迎えに来てくれました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 学校の Wi-Fi はとても弱く、結局みんな使っていませんでした。
 家ではホストファミリーが Wi-Fi を教えてくれ使用しました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) とても綺麗なお家で、個室も広く快適でした。私は洗濯や皿洗いをやってくれるファミリーでしたが、最初にルールを確認すると良いです。ホストマザーは毎日昼食も持たせてくれる優しい方で、とても節約になりました。外食すると 1,500～2,000 円はするのでスーパーで買った材料でサンドイッチを作る友達も結構いました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 とても親切な先生方で安心ですし、毎日楽しく学校に通うことが出来ました。8:30から朝は早いですがその分、お昼の13時には終わるので、色んな体験やお出かけを楽しむことができます！ この時期はほとんどが日本人大学生で、外国の人と交流しにくいのは良くない点だと感じました。日本語を話さないように英語のみを徹底しましたが、周りからはかなり日本語がきこえてきます。海外の友達はできにくいです。
2)課外プログラムについて CONVERSATION クラブとスポーツクラブ(バスケ)に参加しました。他のクラスの人や、様々な国籍の人と関われたのでとても良かったです。中国、韓国、アラビア系の方々と関わったり、一緒にバスケをしたのはとても楽しかったです。
3)現地での生活に関すること 午前中は学校に行き、午後は友達と自由にクライストチャーチの様々な場所に出かけました。 土日は友達とも出かけましたし、ファミリーが色んな所に連れ出してくれました。 毎日外食をすると出費がかなり大きいと思います。スーパーは比較的安くおすすめです。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 クラブやイベントごとのみ。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 なし

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 バスは手を上げないと止まってくれないし、次がどこの駅なのかの案内もありません。地図の位置情報を使いこなすといいです。バスを降りる際はみんな THANK YOU! と言います。私も必ず言うようにしていました。 ニュージーの人は寝るのが早いので、毎日夜 10 時には寝ていました。ファミリーの生活習慣に合わせるようにしました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

とてもよい研修先だったと感じます。はじめは緊張していましたが先生方がとても優しく聞き取りやすい英語で話して下さるので、英語に自信がなくてもそこまで心配する必要はありません。ファミリーとの会話はとても大切にしていました。自分の部屋に籠るのではなく毎日コミュニケーションをとり、誘って頂いたものは全て断らないようにしていました。私は子供がいる家庭だったので、毎日のカードゲームや庭遊び、映画鑑賞の時間で積極的にコミュニケーションをとることが出来ました。 【アドバイス】 水筒を持っていくと良いです。学校で水やココアコーヒーが無料で飲めます。 中用のスリッパを持っていくと、家の中で疲れる外靴をはく必要がないのでおすすめです。 現金は日本円で 2 万円もっていきましたが、1 万円しか使いませんでした。 個人的に、日本人の友達と沢山遊びに行くのも良いですが、夜ご飯の時間には帰り、ファミリーとの時間を大切にすると良いと思います。ファミリーとの時間のおかげで英語がぐんと伸びた感覚がありました。 もし検討されているなら、とてもおすすめのプログラムです！帰国する最終日はさみしくてファミリーと一緒に泣きました(笑) 本当にニュージーランドに行ってよかったと心から思います！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	CCEL Christchurch 英語研修
-----	------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	54530 円	朝食夕食はホストファミリーが用意してくれたものを食べる。友だちと食べる際は自費
図書費・学用品費	325 円	授業で使うノート
携帯・インターネット費	5694 円	
現地通学費	5950 円	(研修先まで 45 分)
教養娯楽費	40988 円	学校が運営している 1 泊二日テカポ湖ツアー、クライストチャーチゴンドラ、など
被服費	0 円	
雑費	980 円	VPN
その他	16676 円	例:お土産
合計	125143 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にキャッシュレス決済が用いられて入れスムーズに商品を購入できました。バスに乗るためのメトロカードはバス内では現金の実チャージできるので現金も少し持つておくことをお勧めします。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
WORDESIM を利用しました。3 週間で 20 ギガで十分でした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
レトルトの日本食。紫外線が強く乾燥しているのでサングラスと保湿をもっていけばよかった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
夜遅く一人で歩くのは危険だとホストファミリーに教えてもらったのでできるだけ早く解散した。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
よかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☒自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

お風呂の使用時間やディナーの時間などの基本的なこと以外自由にさせてもらえたので不自由なく過ごせました。友達とディナーを食べるときは Whatapp でファミリーに連絡すればいいので縛られすぎことはありませんでした。寒さに関しては想像以上で、部屋に暖房がなく今の暖炉で温まっていました。洗濯させてもらえる日やファミリーが留守のタイミングでの帰宅など事前に確認を取っていると安心です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

少人数クラスで一人一人と話すことができた。クラス内で発言する機会も多く先生が一人一人に意見を求めてくださった。人の入れ替わりが激しかった。私のクラスの先生は休みがちで 3 週間のうち半分ほど下代わりの先生による授業だった。

2)課外プログラムについて

授業後に様々なクラブが開催されておりはやめにエントリーすると参加できた。テカポ湖ツアーは申込者が多く私が滞在する 3 週間以内で開催されるものはすでに満席だった。参加したいが空き枠がないことを伝えたら参加させてもらった。ほかにはスポーツクラブに参加しサッカーを観戦した。他クラスや他国籍の人々と交流することができた。

3)現地での生活に関すること

クライストチャーチはそれほど大きな町ではなく、3 週間ほどあれば有名な観光地やシティセンター、リッカートンモールなど代替の場所は訪れることができた。お昼ご飯は 1000 円から 1500 円ほどでファストフードなどを食べていた。ディナーを友だちと食べると、レストランでは 1 人 5000 円ほどかかる。金曜日の夜に開催されるナイトマーケット、ファーマーズマーケット、日曜日の午前のサンデーマーケットはにぎわっており様々な国のご飯を食べることができた。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

私が現地にいた 3 週間のうち 2 週間はカンタベリー大学のサマーブレイクだったので現地の学生とすれ違うこともなかった。1 週間は大学内の図書館などを訪れると現地に学生はいたが交流はできなかった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

同じホームステイ先のルームメイトとの交流。日本人だったので交流しやすく情報交換もできてよかった。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

雨の日に傘を差さない。風が強いという理由でほぼさす人はおらずびしょぬれになっていた。バスのアナウンスがなく乗換案内アプリを見る必要があった。授業中は基本的に発言が自由にでき、疑問に思ったことや自国ではこうだなどと活発な発言が多かった。9 時に寝て 6 時に起きる習慣で健康的だった。飲食店などほとんどのお店は 18 時ごろに閉まり週末はナイトマーケットやファーマーズマーケット、サンデーマーケットなど毎週出店があり楽しめた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

研修先では想像していたよりも日本人が多く友達はたくさん作ることができた。また、同じクラスの人たちと仲良くなりやすくなりフレンドリーなので友達と通じて友達を作ることが多かった。チリ人と毎日遊びに行くくらい仲良くなることができ、共通言語が英語のみだったことから COEL 以外でも常に英語を使う環境で生活することができた。英語を話すのはまだなかなか難しいけど 3 週間の語学研修を通じて日常会話を学ぶことができたので今後も学校が主催する国際交流パーティーなどに参加してみたいです。これから参加を考えている方へ伝えたいのは、英語に自信がなくても挑戦してみしてほしいということです。うまく英語で表現できなくても効果音やジェスチャーで伝えることはでき、相手も意図をくみ取ろうとしてくれます。身構えず、積極的に会話に入れば新しく知れることはたくさんあり、心に残る貴重な経験になります。